

第 1 2 回 新宮市文化複合施設管理運営検討委員会 会議概要

日時：平成 3 0 年 1 2 月 1 8 日（火） 午後 1 時 3 0 分～午後 4 時 4 0 分

場所：新宮市人権教育センター

管理運営 検討委員会	出席委員	堀内委員長、関副委員長、勢古副委員長、船上委員、 榎本委員、川口委員、竹中委員、雑賀委員、城庵委員、東委員
	欠席委員	那須委員
事務局	教育委員会	楠本教育長、片山教育部長 文化複合施設建設推進室：須崎室長、勝田係長、古川 文化振興課：福本課長
	図書館	道前係長、竹原
支援業者	(株)アフターワークショップ（TWS）	伊東氏

＜開会-教育長あいさつ＞

教育長	設計がほぼ固まってきた。工事費の積算をしているところ。この施設が社会教育施設として市民に愛され、人を繋ぐ施設とするためには管理運営計画が重要になる。委員のみなさまには検討いただき意見をまとめていただきたい。
-----	---

＜開会-委員長あいさつ＞

委員長	平成 29 年 5 月に市が管理運営基本計画を策定した。その各論にあたる実施計画作りにみなさんの忌憚なき意見を出していただきまとめていきたい。みなさんも他の施設など自分の足でホールや図書館を見ていただき議論を深めていただきたい。
-----	--

＜①事業計画（自主事業）事業の種類・実施の方針について＞

TWS	- 前回の振り返り（市民参画に対する意見）、第 12 回会議の位置づけを確認 - 最終的なまとめは来年度になる。 （主な内容） - 限られた予算の中でどのような事業を重点的に行っていくのか。 - 年間の事業費予算 1,500 万円と設定されている。予算の考え方は、指定管理者制度の場合は収入を別途見込んで良いというのが一般的で、行政では総支出と考えがちとなる。総支出が 1,500 万円では運営が難しくなる。実行委員会形式にして、1,500 万円を種として事業を膨らませるという方法もある。みなさんに審議して欲しい。 - 事業の種類 生涯学習事業を「資料収集・公開事業」と「熊野文化魅力発信事業」に分類して新たに追加する。市外から新宮を俯瞰してみると「熊野」という言葉がキーワードとなり大切な個性として取り入れておきたい。 - 事業実施の方針 熊野文化魅力発信事業をベースに普及育成事業や交流事業を全体の底上げを担う役割と位置づけ、これら 3 つに重点をおいて展開するのが良いのではないかと（市民ワークショップ等の意見などを反映）。
-----	---

委員	・ 自主事業はどういう目的で行うのか再確認しておきたい。事業費 1,500 万円は毎年執行されるものか確認したい。
事務局	・ 自主事業費は毎年計上していきたい。
TWS	・ 自主事業をなぜ行うのかということは、簡単に言うとホールや文化施設は誰のための施設なのかということ。文化活動を行ってきた人は貸館として利用するでしょう。そうではない方は市民の中では大多数、文化活動にこれまで関わってこなかった人をどうやって参加してもらうのが重要となる。多くの方に関心を持ってもらって参加をしてもらうような事業をする必要がある。今回出来る施設は高機能なもので、機能を十分発揮して手本となるような事業を通して示して、将来の貸館に繋げる、自ら事業ができるようにまちづくりをしていくもの。
委員	・ 3つの事業を中心として、徐々に他の事業種類へも波及させていくのが良いと思う。 ・ 好きな分野で活動することは良い交流を生む。自主事業を企画する際には、その一つの交流の中でも新たな事業を提案するなど新たな交流を生むことが期待されそう。 ・ 学生の中には、あなたの町の紹介をしてくださいという質問にうまく答えられない子がいる。「熊野」の魅力を継承していくためにも、熊野文化魅力発信事業が中心にあり、波及させることは良いと思う。 ・ 新宮市や館の方針として、どういった事業のジャンルを中心に据えるか確認しておくのも大切かと思う。 ・ 収入を高める方策を考えて、事業を豊かに展開できるとさらに良いのではないか。 ・ ホールと図書館の合同の事業はどのようなものか考えてみたい。 ・ 自主事業を実施またはサポートする団体作りを急がないといけないかと思った。 ・ 「熊野」を切り口に事業の種類や方針を決めることは基本計画に整合性があると思う。 ・ 事業の種類を説明する際には、もう少し具体的な用語を加える必要はないか。 ・ 専門家を作っていくには育成をサポートする体制が重要で、意図的に育てないと勝手には育たない。人に頼りすぎると継承ができない。
委員長	・ 自主事業は、我々も含めてみんなで作っていくということが大切である。
委員	・ 中心市街地の活性化に繋がるような言葉を説明の中に少し入れられないか。 ・ 図書館は2名増員で、貸出冊数は3～5倍になると思う。職員は手一杯になるかと思うため、学校図書館との連携関係を盛り込めないか。
委員長	・ 委員みなさんの意見を包含して、わかりやすく可能な限り具体的にしていって決定する。また、どう書くべきか提案をいただきたいと思う。
＜向井山朋子さんを紹介＞	
向井山氏	・ ピアノ、ダンス、コンサートなどのジャンルを超えた作品創りを行っている。 ・ 新宮高校で発表したのが最初で最後だったが、今後できる施設で何か出来ればと思っている。
委員長	・ ふるさとの新宮市で文化複合施設が建設された時には、ご出演やアドバイスをいただける可能性はありますか。

向井山氏	それを行いたくて来た。ジャンルを超えて活動しているためネットワークがある。おもしろいものを提供できると思う。新宮市は使わないと損するのではないか。
委員長	今後ともよろしくお願いします。
<①事業計画（自主事業）プレイベント・開館記念事業について>	
TWS	- プレイベント・開館記念事業については管理運営基本計画にも明記している。 - 具体的には、市民による企画運営実践の場、計画施工段階から始まる最初の広報・宣伝機能、開館後の通年事業のファーストシリーズと位置付けている。 - プレイベントでは、①開館後の自主事業・運営を見据えた活動を行う。②開館に向けた取り組みを町や熊野圏域全体に広げる。③施設が出来上がるまでの記録を残し、広く情報発信をする。 (他事例) - 自主事業実行委員会などを行政と市民が対等な立場で議論し立ち上げる。住民参加型で幅広く企画し運営している例〔リアスホール（岩手県大船渡市）、みの〜れ（茨城県小美玉市）〕 - 舞台監督や音響照明に関するワークショップを行った例〔みの〜れ（茨城県小美玉市）〕 - 先どり！市民会館と題して、人で列を成して平地にホール区画を再現する。そこで発表を行い、開館後に本番発表の舞台を用意する例〔芸術館（長野県長野市）〕 - 仮囲いペイントで地域の美術家や美術部の協力を得て、こどもたちに仮囲いに絵を描かせてホール完成を待ち望み、期待を高める例〔きりり（広島県三次市）〕
TWS	- 開館記念事業では、①多彩な公演がならぶオープニングイヤーを設ける。②自主事業として継続する事業の周知を目的とする。③熊野文化に関する事業を市民参加で行う。 - 様々な活動が可能なホール計画で、ジャンルを制限しない方が良い。向井山さんもそういったジャンルに捉われないイベント作りを目指している。市民意向に配慮した1年に1回でも足を運んでもらえるような仕掛けを用意する方がよい。 - 熊野文化に関心のある方はオープニングに熊野を題材にしたイベントでは遠方からでも足を運ぶかもしれない。ローカルなものほどグローバルであったりする。 (他事例) - 著名人や地元出身者をふんだんに並べたオープニングイヤー例〔芸術館（長野県長野市）〕 - オープニングを市民の力で作るため実行委員会を結成してプログラミングした、劇場に関する仕事の元プロが関わっていた例〔ポプリホール鶴川（東京都町田市）〕 - 指定管理者が地元の人たちで結成されたが、キョードー東京から3年間に渡って人の派遣を通じてイベント作りの支援を受けて作り上げた例〔きりり（広島県三次市）〕 - 新宮市に近いのは、1年間で4つのシーズンに分けて行っている。まずは芽を出すことを目指して、プロのアーティストを呼んではいるが、参加型や交流型を必ずセットにしている。特別なプログラムを作るとアーティストとの交流が生まれる。直接アーティストと交

TWS	渉して次回以降プログラムできたりすることがある。市民主体だからこそそのメリットが出た例〔コラーレ（富山県黒部市）〕
委員長	・ 協議2に入る。市民参画の視点からはどのような形で関わるべきか、関わりたいか。紹介いただいた事例に対する意見など、幅広く意見交換したい。 ・ プレイベントの組織作りは、昨年立ち上がったが再度発展的に構築していくというので、市民参画の形についても意見を伺いたい。
委員	・ 市民ワークショップではたくさん意見が出された。その意見にそった取り組みを出来れば良いと思う。 ・ 新宮出身でいろんな場所で活躍されている。そういった人物をうまく利用した開館記念事業に繋げていけたらと思う。 ・ こどもが関われるプレイベントとなると多くの人が参加すると思う。 ・ 活動に対する補助金なども勉強して獲得挑戦していきたい。 ・ 今は少しずつ各個人や各団体が文化複合施設の周知活動をしている。 ・ 工事現場などを利用したイベントを行うのが良い。 ・ 各団体で活躍されている方が集まって市民参画で企画をしていければ良い。 ・ 世代別に分けたターゲットを絞り込んだイベントも企画できればおもしろい。 ・ 新宮市では、食に特化した有名人が多いようにも思うので連携できないかと思っている。 ・ オープンした後 10 年でも継続していけるような市民組織作りをしていく必要がある。 ・ 中学生の演劇では、仕込みから出演、撤収まで作り上げる企画も隣の町であった。 ・ 地元の人が出演できる形とプロを招へいする形を2つに分けて開館記念事業にしていってはどうか。 ・ 最初は興味のある方から始めて、後に市民参加を広げていく方法が良いと思う。 ・ 総合プロデューサー的な存在が必要になってくるかと思う。 ・ 過去に新宮市でも市民で作る第九演奏会があった。
委員長	・ みなさんの意見を聞いていると、そろそろプレイベント実行に向けた調査・研究をして、世代やジャンルを考えながら組織作りを発展的に再構築しなければならないかと思っている。
TWS	・ 総合プロデューサーとはヘッドになる人で、それを支える手足が必要になる。それを行政の中で担うのか。市民のみなさんがどうかかわっていくのかということが大切で、新しい組織で担っていくのが良いと思う。新しい組織を市民に認めてもらうということが大切で、その組織でイベントを行っていくということを広めないとうまくいかないと思う。
委員長	・ TWSは組織作りをサポートしてもらいたい。 ・ 公平性を保つには、公募するのが良いと思う。 ・ プレイベントを行っていく市民組織は本委員会の附属機関ではない。 ・ プレイベントや開館記念事業は本委員会ですべてを決めることではない、実際に動き出すために、なるべく早い時期に新しく委員会を立ち上げてはどうか。

事務局	2年間市民参画組織作りをしてきたが、こちらのマネジメント不足もあり様々な意見をいただいている。また、文化協会の関係者等への周知も進めないといけない。新宮市らしい組織作りをしたいと思っている。芸術プロデューサーのようなトップダウンができる組織が良いのか、世話人が複数いる方が良いのかなど考えたい。早いうちにプランや工程表を作って示したいと思っている。
委員長	- 新年度からでは遅く感じるところがある。行政と市民の協働で組織作りの企画を準備するため、本委員会から関副委員長と城庵委員を推薦して公募の企画作りを進めてはどうか。そこにTWSのプロのアドバイスをいただきながら進めるのはどうか。 - 再構築が行政任せとなり時間がかかってしまう。 - 慎重に準備をして、その進捗状況など次回に報告してもらいたい。
委員	- プレイベント実行委員会に関わっていたメンバーのうち、特に委員長については再組織化の公募の企画作りに参加できる方が良いのではないかな。 - 関わった方には納得のいく説明をしておくことが必要かと思う。
委員長	すべてを一任した訳ではないが、そのあり方については、関わった人に承認もらって進めるのは当然だと思う。たたき台を次回に示していただき、これまで関わった方にも声をかけて、公募型で市民参画組織を再スタート切れるように進めて欲しい。
<①事業計画（貸館事業）について>	
TWS	- 今回は提案をして、問題提起程度になるかと思う。 - 館の休館日、開館時間、貸出時間区分、予約の方法などを条例、規則作りの話となる。
委員長	- 貸館は、利用料金を含めて行政で条例を作る作業の項目である。TWSで調査した各地の実態と問題提起やアドバイスを加味しながら、また事務局の研究も進めて、取捨選択した事務局案を出していただき、検討することにしたい。 - 教育部としてのたたき台を示していただき検討する方向で良いか。
委員	了解した。
<その他>	
事務局	次回開催日は委員長とTWSに相談のうえお知らせする。

以上